

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.11.29 時点)

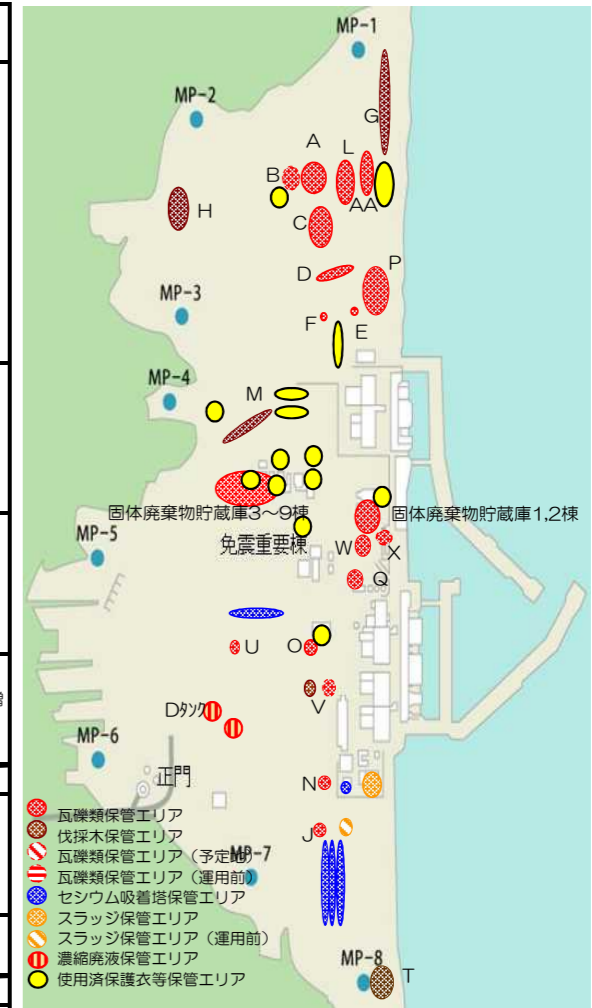
分類	保管場所	保管方法	エリア境界空間線量率(mSv/h)	保管量	前回集約からの増減 ^{※1} (2019.10.31 - 2019.11.29)	変動理由 ^{※2}	エリア占有率	保管量 ^{※3} /保管容量(割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	5,300 m ³	0 m ³	—	100%	202900 / 252700 (80%)	・フランジタンク解体片 2019年11月末時点でコンテナ969基保管。 エリアP1コンテナ数: 622基 (2015年6月15日~) エリアAAコンテナ数: 347基 (2018年3月15日~)
	C	屋外集積	0.01未満	63,200 m ³	微増	①⑨	100%		
	F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85%		
	J	屋外集積	0.01	6,200 m ³	0 m ³	—	78%		
	N	屋外集積	0.01未満	9,600 m ³	0 m ³	—	96%		
	O	屋外集積	0.01未満	43,500 m ³	+200 m ³	①③④	85%		
	P1	屋外集積	0.01未満	51,300 m ³	-100 m ³	①⑤	80%		
	U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—	100%		
	V	屋外集積	0.01	5,200 m ³	+200 m ³	①③	87%		
	AA	屋外集積	0.01未満	11,500 m ³	+300 m ³	①⑤	31%		
瓦礫類 シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58%	41000 / 71000 (58%)	・エリアWでの車両解体(プレス等)完了。(2018年1月)
	E1	シート養生	0.02	14,200 m ³	0 m ³	—	89%		
	P2	シート養生	0.01	5,700 m ³	0 m ³	—	63%		
	W	シート養生	0.03	10,600 m ³	+1,200 m ³	①②	36%		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m ³	0 m ³	—	100%	17900 / 31700 (56%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量(4,000m ³)増加。 (2018年5月)
	A	仮設保管設備	0.26	700 m ³	-100 m ³	⑥	9%		
	E2	容器 ^{※4}	0.01	600 m ³	0 m ³	—	31%		
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%		
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	Q	容器	0.04	0 m ³	0 m ³	—	0%	19700 / 45600 (43%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m ³)増加。 (2018年2月)
	A	仮設保管設備	0.26	700 m ³	-100 m ³	⑥	9%		
	E2	容器 ^{※4}	0.01	600 m ³	0 m ³	—	31%		
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%		
合計(ガレキ)				281,400 m ³	+2,600 m ³	—	70%		
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m ³	0 m ³	—	63%	96800 / 134000 (72%)	
	H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74%		
	M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	0 m ³	—	88%		
	V	屋外集積	0.01	100 m ³	微増	⑦	2%		
	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—	88%		
伐採木 一時保管槽 (枝・葉)	T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%	37300 / 41600 (90%)	
	T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%		
合計(伐採木)				134,100 m ³	微増	—	76%		
保護衣 屋外集積	容器	0.03	49,900 m ³	-2,700 m ³	⑧	73%	49900 / 68300 (73%)	・使用済保護衣等焼却量 6596t (2019年11月末累積) ・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1567本 (2019年11月末累積)	
合計(使用済保護衣等)				49,900 m ³	-2,700 m ³	—	73%		

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※2 主な変動理由: ①タンク関連工事 ②1~4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③構内一般廃棄物 ④敷地造成関連工事 ⑤フランジタンク除染作業
 ⑥エリア整理のための移動(A→固体庫) ⑦伐採木受入 ⑧焼却運転 ⑨砕石取り出し

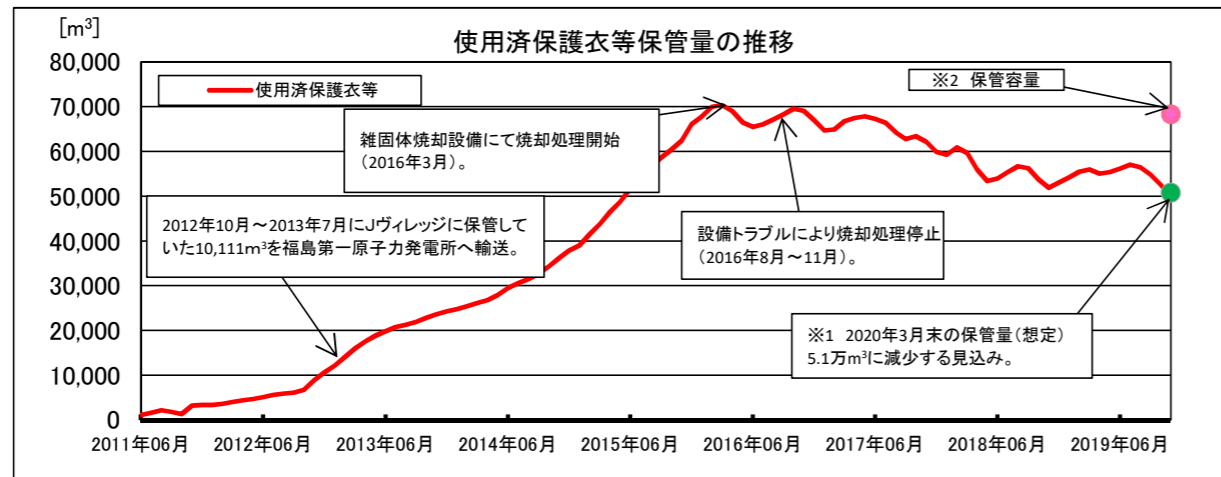
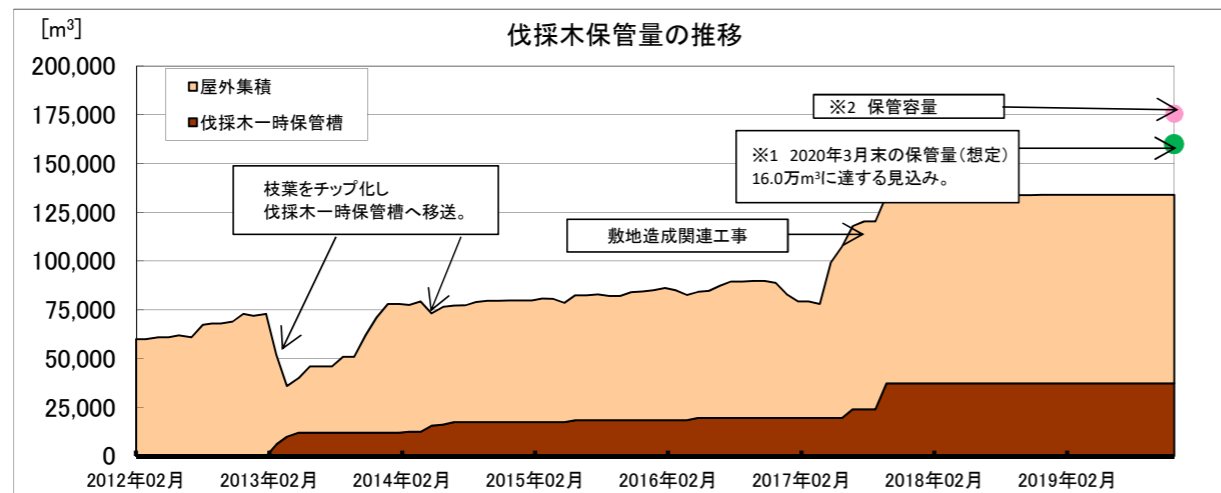
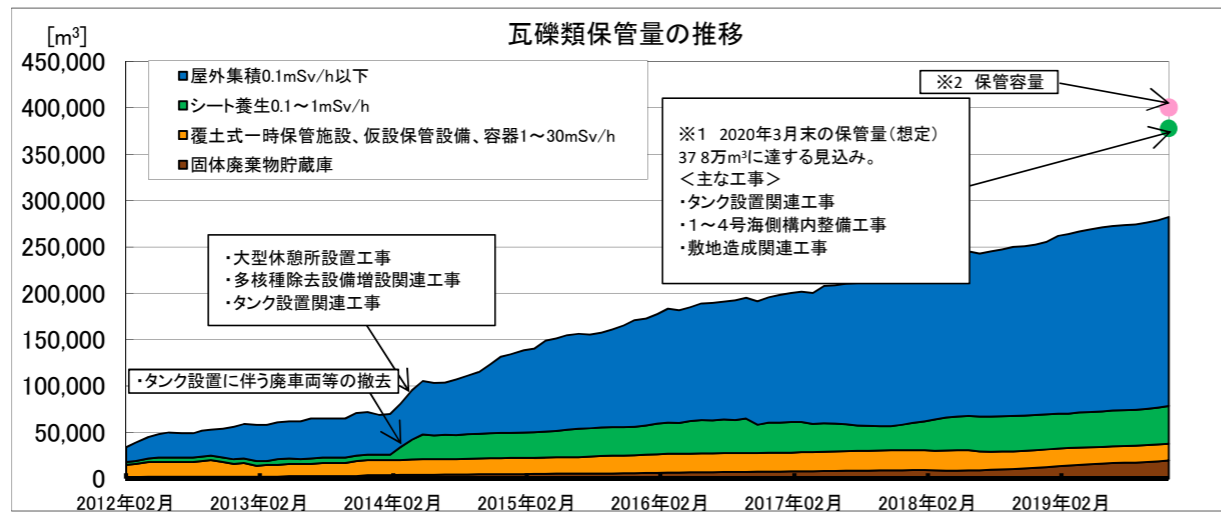
※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.12.5時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回集約からの増減(2019.11.7 - 2019.12.5)	保管量/保管容量(割合)	トピックス	
水処理二次廃棄物 使用済吸着塔 保管施設	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済バessel	779 本	0 本	4576 / 6372 (72%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)	
		第二セシウム吸着装置使用済バessel	224 本	0 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,681 基			+21 基
			増設	1,599 基			+17 基
		高性能多核種除去設備使用済バessel	高性能	74 本			0 本
		多核種除去設備処理カラム	既設	11 塔			0 塔
モバイル式処理装置等使用済バessel及びフィルタ類		208 本	0 本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,345 m ³	-12 m ³	9345 / 10300 (91%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量: 9245 [m] タンク底部~水位計の保管量(DS): 約100[m]	



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.11.29 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2019年1月28日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.12.5時点)

